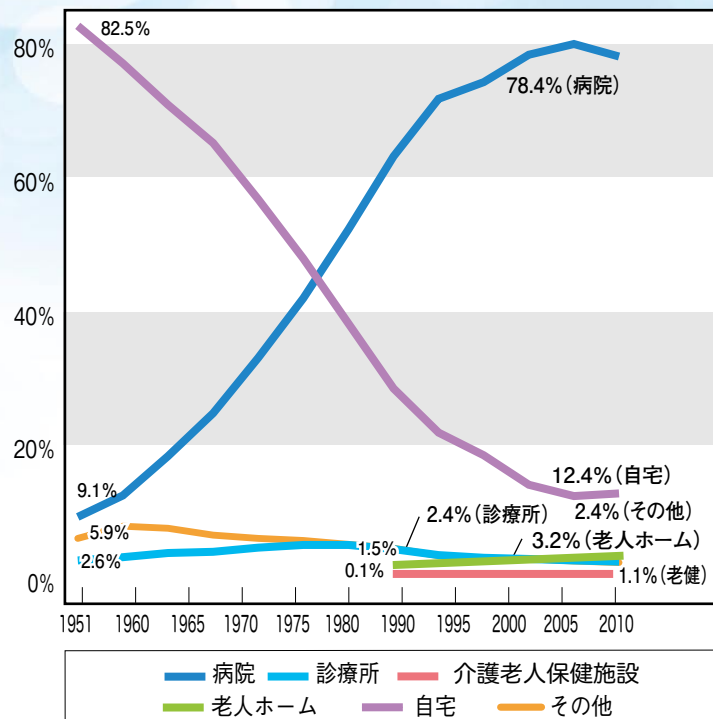


最期まで安心して暮らせるまちづくりを目指し 在宅医療・介護連携に取り組んでいます！

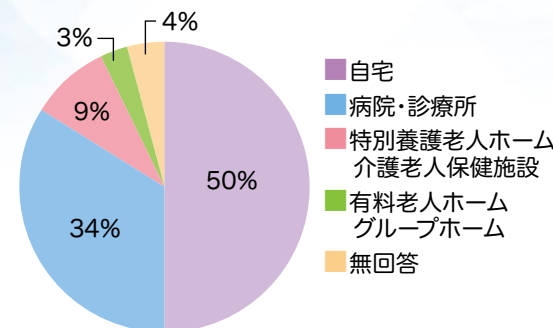
《死亡場所の推移》



※1994年までは老人ホームでの死は、自宅に含まれている。
(出典:厚生労働省「人口動態統計」)

在宅医療に関する意識調査
(下図)において、約半数の方は「自宅で最期を迎えたい」と望んでいます。
しかし、死亡場所の推移(左図)より、実際の死亡場所は約8割を「病院」が占めており、希望どおりとなっていないことがわかります。
在宅医療・介護連携推進事業では「自宅で最期を迎えたい」という方々の希望に応えられるよう取り組んでいます。

Q.最期を迎える場として、医療機関と居住の場どちらを希望しますか？



(結城市在宅医療に関する市民意識調査H27.12より)



専門職の連携推進の仕組み作り

在宅医療・介護に係る専門職(医師・看護師・薬剤師・ケアマネジャーなど)が連携しやすい仕組み作りに取り組んでいます。

目指す姿

医療や介護を必要とする市民が住み慣れた地域で自分らしい生活を人生の最期まで続けられるまち

在宅医療の普及啓発

市民の皆さんに在宅医療や在宅介護について広く知っていただくよう、広報活動に取り組んでいます。

安心して入退院できる仕組み作り

病院を入退院する際に安心して自宅や地域に帰ることができるよう、病院の関係者やケアマネジャーなどがさまざまな視点から病院と地域をつなぐ仕組み作りに取り組んでいます。

連携

市の医療・介護の専門職が集まり「在宅医療・介護連携」を推進するための仕組み作りをしています。

平成28年度在宅医療・介護連携推進事業

行事などのご案内

●在宅医療・介護に関する市民講演会●

〈日 時〉 3月18日(土) 午後2時から
〈場 所〉 市民情報センター3階 多目的ホール
〈講 師〉 太田 秀樹さん(医療法人アスミス 理事長)
〈問合先〉 市地域包括支援センター ☎34-0324

※詳細については、お知らせ版(2月15日号)をご覧ください。

●在宅医療に関するホームページ

在宅医療について興味・関心がある方は市ホームページにて「在宅医療」で検索してください。

在宅医療

検索

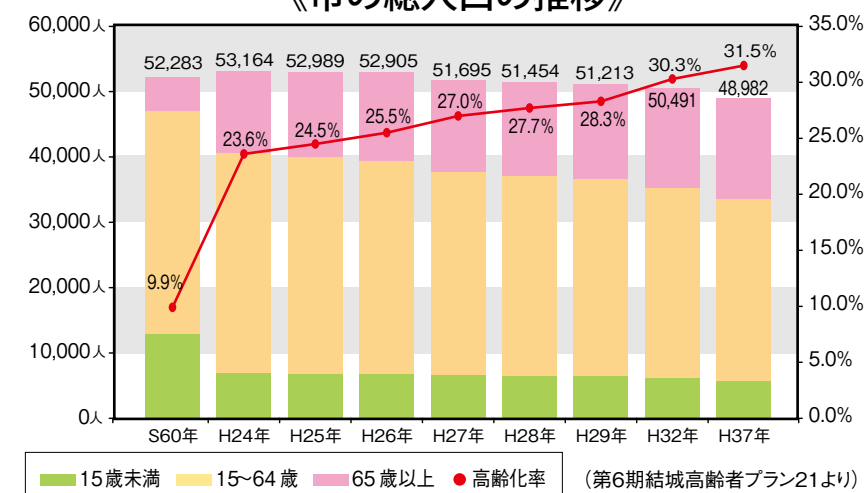
●在宅医療相談窓口(市民用)

市地域包括支援センター
(市長寿福祉課内)
☎34-0324

■市地域包括支援センター(市長寿福祉課内)
☎34-0324

■市地域包括支援センター南分室
(青嵐荘特別養護老人ホーム1階)
☎54-6477

《市の総人口の推移》



(第6期結城高齢者プラン21より)

高齢者になっても障がいがあっても住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けることができるよう、医療・介護の関係機関が連携して在宅医療・介護を提供することが重要となっています。

■市の総人口の推移
結城市の総人口は現在52,598人(H29・1・1時点)ですが、ゆるやかに減少し平成37年には約49,000人になると推計されています。人口の年齢構成をみると、高齢者人口は一貫して増加を続けます。一方で15歳未満の人口は減少し、少子高齢化が今後も進むと考えられています。このような状況のなか、市民の皆さんが「住み慣れた地域で安心して暮らせるよう、医療・介護・介護予防・生活支援・住まいが一体的に提供される」地域包括ケアシステムづくりに取り組んでいます。